



279号 発行所 / 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 発行責任者 / 病院長 吉野 茂文 印刷 / (株)アートネクスト

Table with 2 columns: 手術症例(2024年) and 件数. Lists various surgical procedures and their counts.

概要 当センター泌尿器科では尿路(腎臓・尿管・膀胱・尿道)・男性性器(前立腺・精巣・精巣上体・陰茎)および内分泌臓器である副腎を対象とし、泌尿器科一般(尿路性器腫瘍 尿路感染症・尿路結石症・排尿障害・尿失禁など)の診療を行っています。

泌尿器科のご紹介

腎臓癌・膀胱癌・前立腺癌など尿路性器腫瘍に対しては手術療法・放射線治療・化学療法とさまざまな治療を組み合わせて治療を行っています。

現在抗がん剤治療を受ける方は日常生活・仕事・趣味・副作用・医療費等不



透析センターの様子

安なことがたくさんあると思います。また、高齢の患者さんにも非常に多いです。患者さんには今後の治療について望むことを話していただき、医療者側からは詳細かつ理解しやすい情報を患者さんに提供し、納得して治療を受けていただくことを心がけています。



泌尿器科医長 テイ ヤスヒデ 鄭 泰秀

外来診療担当医一覧表

2026年4月1日予定 (変更される場合もあります)

Main table listing medical departments (e.g., Internal Medicine, Surgery, Pediatrics) and their respective staff members for each day of the week.

赤字は4月の変更予定です ※…外部医師

〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 診療受付時間: 午前8:30~11:30 午後(各診療科外来にお問い合わせください) ※休診日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3) ★代表 TEL(083)241-1199 FAX(083)241-1301 ★地域医療連携室(医療関係者専用) TEL(083)241-1191(2561) FAX(083)241-1302 ★透析センター TEL(083)241-1302 FAX(083)241-1308 https://kanmon.hosp.go.jp/

\*\*\*\*\* 研修を終えて \*\*\*\*\*

これから進む  
診療科  
整形外科



研修医  
かとう たく  
加藤 卓

来年度からは市中病院にて整形外科 後期研修医として働かせて頂きます。関門医療センターでは、2年間を通して外傷や骨折等様々な症例を経験させて頂き、実際に術野に入り、執刀する機会まで頂けたことは大変に有難かったです。また当直を通して、救急のファーストタッチにもかなり自信ができました。2年目では外病院も数多く経験させて頂き、専門性高く研修することも出来ました。この2年間はとも短く、来年度からの不安が押し寄せる毎日ですが、自己研鑽を積み、自分の軸を曲げずに患者さんに寄り添える医師になりたいです。ありがとうございます。

これから進む  
診療科  
呼吸器外科



研修医  
きむら すみと  
木村 究達

関門医療センターでの2年間は、救急対応から周術期管理まで幅広い症例に向き合い、医師としての基礎を築いた濃密な時間でした。多職種と協働し、患者さん一人ひとりに寄り添う姿勢の大切さを学びました。今後は出身大学である熊本大学呼吸器外科に進み、これまでの経験を糧に、より高度な外科手技と周術期管理を磨き、地域医療に貢献できる呼吸器外科医を目指します。2年間関わっていただいた方々に改めて感謝申し上げます。

これから進む  
診療科  
呼吸器内科



研修医  
きりやま だいき  
桐山 大樹

2年間の初期臨床研修があつという間に終わってしまいました。研修期間に一番学べたこととはどのような場面においても患者さんのためにその時にできるベストの医療を提供する姿勢です。救急医不在の救急外来や夜間当直を研修医メインで診療する機会が数多くあったため、限られたマンパワーや時間で、今自分ができる最善の処置は何か常に考えておりました。また、地域医療ならではの経験を積んで、自分の専門分野を極めることは当然であり、専門分野以外でもシネラルな能力を身につける必要があると痛感させられました。2年間の研修で学んだことを一生の糧に、どのような状況でも患者さんにより良い医療を提供できる医師を目指して猛進したいと思います。

これから進む  
診療科  
消化器内科



研修医  
くにのぶ ももこ  
國信 萌々

関門医療センターでの研修の1番の特徴は、研修医の数が多くみんなで相談し切磋琢磨しながら研修できることだと思います。救急では研修医が自ら身体所見をとり検査項目を考えて診療にあたりました。また、上級医の先生方の患者さんとの関わり方も見て学ばせていただきました。4月からは山口大学で消化器内科医として働きます。初心を忘れず関門医療センターで学んだことを活かして日々精進していきます。2年間ありがとうございます。

これから進む  
診療科  
救急科



研修医  
たむら りつ  
田村 律

当センターでの研修により自分の将来の選択肢が大きく広がりました。2年間の研修生活では日中の様々な診療科での研修に加え、当直での救急対応、地域のクリニックでの訪問診療、大病院での知識の拡大等、自分の将来について考える多くの機会をいただきました。その中で私は診療の第一線で患者さんの命を救う救急科に強い興味を抱き、4月からは山口大学病院の救急科で働かせていただきます。今後は救急医として多くの命を救い、生まれ育った山口県に貢献していきたいと考えています。

これから進む  
診療科  
リハビリテーション科



研修医  
つちだ けいすけ  
土田 圭佑

初期研修では、慣れない環境の中で知識や判断力の不足を痛感し、当直や多忙な業務に悩むことも多くありました。一方で多くの症例を経験し、上級医やスタッフの温かい指導のもと成長を実感できたことは大きな喜びでした。今後はリハビリテーション科で、患者さんの生活に寄り添う医療に貢献していきたいと考えています。

これから進む  
診療科  
呼吸器外科



研修医  
はたなか りょうじ  
畑中 怜

2年間の研修があつという間に終了しました。同期が12人いましたが皆それぞれ違ったタイプで時にぶつかることもありましたが、最終的には楽しく各々切磋琢磨して頑張れたと思います。また、指導医の先生方、看護師の方々からも熱心にご指導いただき医師として基本的な診療能力を身につけることができました。来年度以降は違う病院になりませんが立派な外科医になれるよう頑張ります。

これから進む  
診療科  
整形外科



研修医  
もりやま ゆずみ  
森山 柚実

関門医療センターでの研修では、救急科での研修や当直を通じて多様な症例を経験し、初期対応を中心に主体的に診療に関わる貴重な機会をいただきました。来年度からは整形外科に進みます。これまでの学びを生かし、日々研鑽を重ねながら、患者さん一人ひとりに寄り添い、最適な治療を提供できる医師とになれるよう精進してまいります。

研修医修了式  
はなむけの言葉



統括診療部長  
研修部長  
かいのう せいじ  
戒能 聖治

臨床研修の修了、誠に改めてとうとうございます。

日々の診療に加え、当直や救急対応など多忙を極める中、関門医療センターの医療を支えてくれた皆さんに心から感謝します。当センターで得た知識や手技、そして患者さんと真摯に向き合った経験は、専門の道へ進む皆さんの揺るぎない土台となるはずです。

4月からは「研修医」の肩書きが外れ、より重い責任を担うこととなりますが、研鑽を怠らず邁進してください。2年間、本当にお疲れ様でした。



\*\*\*\*\* 研修を終えて \*\*\*\*\*

これから進む  
診療科  
脳血管内科



研修医  
いしだ ひろみち  
石田 浩理

関門医療センターでの2年間の研修が終わろうとしています。私にとつては久しぶりの山口県で、懐かしさと目新しさとが入り混じった複雑な感情を日々感じていました。これからの進むべき道はまだまだ長いですが、この地での学びを生かしていきます。そして、願わくは小さな成長を積んでいける日々を送り、周囲の人に対して安心感を与えられる人間になりたいと思います。

これから進む  
診療科  
救急科



研修医  
あきた ゆりな  
秋田 優里菜

振り返って思い出すのは、救急外来で必死で考えながら診療している時間と、各科にて先生方にマンツーマンで指導いただいた風景です。怒涛のように過ぎた2年間でしたが、多くのことを経験させて頂いたと思います。これから専門分野に分かれて進みますが、様々なことに興味をもって学んでいきたいと思っています。ご指導いただいた先生・スタッフの方々に誠にありがとうございました。

これから進む  
診療科  
精神科



研修医  
おうのうえ かずき  
尾上 和希

関門で研修した2年間はこれまでの人生で最も楽しく有意義な時間でした。救急の現場では研修医の裁量で自由に診療を行い、医療の現実を学ぶことができました。また関連病院での研修も多く日頃のストレスから解放され、とても良いリフレッシュを行うことができました。そして何よりも素晴らしい同期や先輩に恵まれたことで、このようなかけがえのない2年間を過ごすことが出来たのだと思います。本当にありがとうございます。

これから進む  
診療科  
麻酔科



研修医  
おくやま けいこ  
奥山 桂子

関門医療センターでの研修は2年間を通して様々な疾患の診療や手技を経験することができました。特に志望科である麻酔科では、麻酔計画を立てることから術中管理、抜管まで自分自身で考え実践する機会をいただけ大変勉強になりました。3年目以降も関門医療センターで学んだことを基礎に患者さんに寄り添った医療を提供できるように精進してまいります。2年間ありがとうございました。

**日本機能評価機構認定証更新**

この度、令和7年12月に、日本機能評価機能の4回目の認定を受けました。これからも信頼できる医療機関として、医療の質の向上に努めてまいります。

**海響マラソン 感謝状贈呈式**

「下関海響マラソン2025」において、ドクターランナーとして参加した研修医の田村律先生が感謝状をいただきました。コース上で心肺停止となったランナーを、他3名と協力して救命措置を行い、一命をとりとめることができたそうです。

今後とも地域活動に積極的に参加し、市民のみなさんに貢献できるよう努めてまいります。